

可児 Y E G 部員に聞いてみました！



Q1

『過去の例会』で一番記憶に残っているイベントはなんですか？



「巨大鍋とかまぐし」
二〇一八年当時の地域振興委員会により、できるかわからないことにチャレンジしようということで、このイベントが企画されました。
イベントの内容としては、日本一の直径七メートルのとても大きな鍋を手作りで創るところから始まり、地域の子供たちが一生懸命収穫した白菜を使って、八〇〇〇食の鍋料理を作ったり、雪のかまくらや動物とふれあえる場を作ったりして、地域を盛り上げ

ようというものでした。
この事業当日は小雨が降っておりましたが、多くの方々の笑顔が会場にあふれていました。

最近では新型コロナウイルスの影響で、なかなか地域の方たちに楽しんでもらえるような企画を行うことが難しくなりましたが、今後はまた、このような多くの市民の皆様と一緒に楽しめる企画ができることを願います。



Q2

『今年度の例会』で一番記憶に残っているイベントはなんですか？



「小学生の楽しい職場へお仕事体験 I N 可児」
今年度行った事業で唯一、地元市民の方を巻き込んで行うことができた事業でした。コロナはだいぶ落ち着いてきていたものの、まだまだ配慮が必要な状況でしたが、多くの方にご来場していただきました。
子供たちが、ドローンスクールの仕事体験や美容室の仕事体験、電気工事の仕事体験など、様々な仕事体験に積極的に参加している姿を見て、自分たちもやりがいを感じながら動くことができました。

中には子供だけでなく、保護者様も子供たちと一緒に体験している場所もありました。
こういった活動が、子供たちや市民の方たちにとって良い思い出になったり、新しい夢に繋がったりしているといいな、と思います。

さらには、帰り際にご来場いただいた方から「毎年やって欲しい」とも言っていました。
このようなお言葉をいただくのと大変嬉しく思いますし、グッとくるものがあります。

今回の事業は準備期間があまりなかったですが、それでもしっかりと形にできる、本松委員長をはじめとした、持続可能な交流委員会の皆様、大変お疲れ様でした。
これからも青年部活動を通して、地元にご貢献していけたらなと改めて思いました。
またご協力していただいた地元企業の皆様も三月という忙しい時期にご参加くださり、ありがとうございます。



Q3

可児 Y E G に入会してよかったと思うことはなんですか？

「気兼ねなく話したり相談できる人が身近にいる」ことです。

入会当初は、可児 Y E G がどんなことをしている団体なのかも分かっておりませんでした。
そのため、何度かイベントにご招待していただきましたが、お断りしてしまっていました。

正直、上下関係が厳しくボロ雑巾のように扱われるのではなかつと思っていたところもありました。(笑)

しかし、先輩方が熱心に参加して欲しいと声をかけてくださったため、参加することを決め、会場に向かうと、思っていた以上に楽しく先輩方も優しく話しかけてくださいました。
気づけば、ほとんどの可児 Y E G の先輩方も気兼ねなく話したり相談できたりするようになりました。

またそういった関係を築くことでお仕事をご紹介していただけたら、自分の将来の夢やビジョンなども見えてきたりしました。



可児 Y E G のインスタグラム、フォローワー数が千人を超える！



可児 Y E G では、バラバラと一緒活動の様子をインスタグラムで公開しています。

ぜひ一度覗いてみてください！

こちらの QR コードから！

